

平成 29 年度福岡県認知神経リハビリテーション研究会主催定期勉強会の開催要項

平成 29 年度の北九地区勉強会を、7 月より概ね月に 1 回の頻度で開催します。

今年度の勉強会では、①参加者の臨床に直結する内容であること、②北部九州地域において認知神経リハビリテーションを実践できる施設やセラピストを拡充させること、の 2 つを主目的としています。この 2 つの目的を達成させるために、勉強会の進め方をこれまでの講義形式から大きく変更します。具体的には約 1 年間を通じて、一人の症例に協力をいただき、その症例に対する観察および治療を見学・体験し、実際に実技を行うことで、認知神経リハビリテーションの知識と技術を確実に身につけていただきます。

症例は 6 歳時に AVM（脳動静脈奇形）による脳出血を発症した 12 歳の片麻痺を呈する女児です。現在は週 1 回医療機関での外来リハビリを受けていますが、筋緊張も高く典型的なマンウエルニッケを呈しています。短下肢装具とロフトスランド杖を使用して屋内の歩行は自立していますが、分回しや伸び上がりなどの異常歩行が観察されています。

勉強会は月に一度、金曜日の 19 時開始、21 時終了予定です。2 時間のうち、前半の 1 時間は日本認知神経リハビリテーション学会監事高橋昭彦によるデモンストレーションを行います。後半の 1 時間は参加者による実技とディスカッションを行います。セラピストによる介入が適切に行われれば、片麻痺は変化します。協力していただける症例の変化を体験していただくためにも、継続した勉強会の参加をお願いいたします。以下に勉強会の詳細なスケジュールを示していますので、内容をご確認いただき、参加をご検討いただければと思います。

参加費：500 円（協力者の交通費・謝礼を含む）

場所：ばんびーにこくらきた（小倉北区南丘 2 丁目 7-19）*GoogleMap で検索すると位置を確認できます。

* 駐車所はありますが、数に限りがありますので、可能な限り乗り合わせるか、公共交通機関の利用をお願いします。

参加申し込み：y-kamino@kodomonoriha.com までメールしてください。

スケジュール

- 29-1 7月7日 認知神経リハビリテーションにおける観察（特異的病理の観察—どのように動くか）
- 29-2 8月 認知神経リハビリテーションにおける観察（内部観察—どのように認識するか）
- 29-3 9月 体幹機能に対するアプローチ（接触機能・対称性（正中線）機能）
- 29-4 体幹機能に対するアプローチ（垂直機能・支持機能）
- 29-5 体幹機能に対するアプローチ（支持機能・到達（方向づけ）機能）
- 29-6 下肢機能に対するアプローチ（推進機能）
- 29-7 下肢機能に対するアプローチ（到達機能）
- 29-8 下肢機能に対するアプローチ（緩衝機能）
- 29-9 下肢機能に対するアプローチ（支持機能）
- 29-10 上肢機能に対するアプローチ（到達機能）
- 29-11 上肢機能に対するアプローチ（接近機能）
- 29-12 上肢機能に対するアプローチ（把持機能）
- 29-13 上肢機能に対するアプローチ（操作機能）